

# 伊那谷・経済動向

## 中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN  
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		26/5 0.86 倍	25/5 0.62 倍	前年同月比 0.24 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電灯	3~5月 106,168千kwh	3~5月 105,245千kwh	0.88 %
	電力	3~5月 258,298千kwh	3~5月 248,771千kwh	3.83 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	6,061 台	6,490 台	-6.61 %
	中古車	1,747 台	2,143 台	-18.48 %
	合計	7,808 台	8,633 台	-9.56 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		3~5月 162 件	3~5月 221 件	-26.70 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		21,098 人	23,173 人	-8.95 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	281,578 台	294,953 台	-4.53 %
	出	269,153 台	278,108 台	-3.22 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	410,240 台	428,914 台	-4.35 %
	出	426,604 台	446,999 台	-4.56 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	304,747 台	318,976 台	-4.46 %
	出	301,521 台	316,870 台	-4.84 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	225,943 台	238,309 台	-5.19 %
	出	218,168 台	229,348 台	-4.87 %

前期 1 - 3月    今期 4 - 6月    来期 7 - 9月    10 - 12月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先212社に対し、平成26年4月～6月期の景気の現状と平成26年7月～9月期の見通しを調査したものです。

## 地区内の景況観

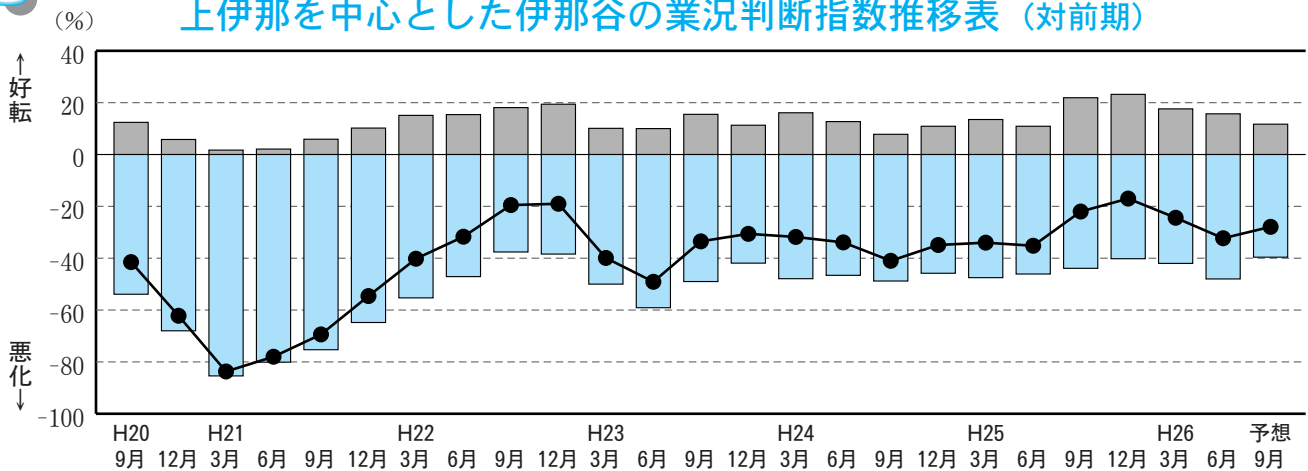
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は15.7%（前期17.6%）、悪かったとする企業は48.0%（前期42.0%）で、DIは▲32.3（前期▲24.4）と前期より7.9ポイント悪化傾向が強まった。消費税増税前の駆け込み需要の反動等で落ち込んだ形となっている。ただし、前回調査の4～6月期の予想DI（▲42.5）と比べると悪化幅は小さくなっており、穏やかな回復基調もみられる。

業種別のDIを見ると、**製造業▲11.1（前期▲25.7）、建設業▲15.6（前期4.4）、卸売業▲30.0（前期10.0）、小売業▲69.2（前期▲36.8）、サービス業▲69.2（前期▲66.7）、不動産業▲16.7（前期▲16.7）**となっており、すべての業種がマイナスの領域となっている。前期と比較して、**製造業は水面下ながら14.6ポイント改善したが、建設業は20.0ポイント、卸売業は40.0ポイント好調感が後退した。小売業は32.4ポイント、サービス業は2.5ポイント悪化傾向が強まった。不動産業は前期と同水準であった。**

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは▲27.9（今期▲32.3）と4.4ポイント水面下ながら改善すると予想している。消費税率引き上げの影響等により今期の業況は悪化したものの、来期は改善が見込まれている。

業種別で見ると、DIは**製造業▲18.3（今期▲11.1）、建設業▲17.7（今期▲15.6）、卸売業▲10.0（今期▲30.0）、小売業▲66.6（今期▲69.2）、サービス業▲27.0（今期▲69.2）、不動産業0.0（今期▲16.7）**と、不動産業以外の業種については、マイナスの見通しとなっている。今期と比べると**製造業は7.2ポイント、建設業は2.1ポイント悪化傾向が強まると予想している。卸売業は20.0ポイント、小売業は2.6ポイント、サービス業は42.2ポイント水面下ながら改善すると予想しており、不動産業は16.7ポイント改善すると予想している。**

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



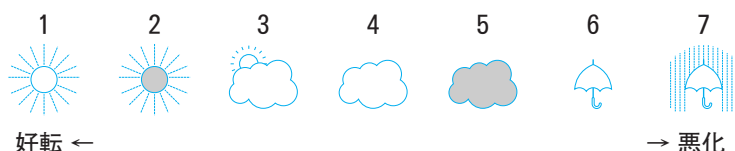
※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

## 業種別天気図

業種	時期	平成25年 10～12月期	平成26年 1～3月期	平成26年 4～6月期	平成26年 7～9月期予想
総合					
製造業					
建設業					
卸売業					
小売業					
サービス業					
不動産業					



## 製造業 (調査先企業 78 社 うち回答企業 72 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**23.6%**（前期**18.2%**）、悪かったとする企業は**34.7%**（前期**43.9%**）でDIは▲**11.1**（前期▲**25.7**）と**14.6**ポイント増加し水面下ながら2期連続の改善となった。

各指標別で見ると、売上額では前期に比べDI**16.9**（前期▲**12.1**）で**19.0**ポイント増加し水面下を脱した。受注残もDI**4.2**（前期▲**4.6**）と**8.8**ポイント増加し水面下を脱した。資金繰りのDIは▲**16.9**（前期▲**27.3**）で**10.4**ポイント厳しさが和らいだ。原材料価格のDIは▲**56.3**（前期▲**36.4**）と**19.9**ポイント悪化し仕入れ価格の上昇傾向を強めた。販売価格のDIは▲**2.8**（前期▲**10.6**）で**7.8**ポイント改善し販売価格の上昇傾向を強めた。収益のDIは▲**7.0**（前期▲**16.7**）と**9.7**ポイント減益幅が縮小した。

前年同期比で見ると売上額はDI**11.4**（前年同期▲**32.8**）と**34.2**ポイント増加し水面下を脱した。収益面についてもDI▲**12.5**（前年同期▲**43.4**）と**30.9**ポイント増加し改善した。売上は増加に転じているものの収益に結びつかない企業が多く、厳しい状況は続いている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、良いと予想する企業は**15.5%**（今期**23.6%**）、悪いと予想する企業は**33.8%**（今期**34.7%**）で、DIは▲**18.3**（今期▲**11.1**）と**7.2**ポイント悪化傾向が強まると予想している。

主な指標では、売上額はDI▲**14.1**（今期**6.9**）と**21.0**ポイント減少し水面下に落ち込むと予想しており、受注残についてもDI▲**14.2**（今期**4.2**）と**18.4**ポイント減少し水面下に落ち込むと予想している。資金繰りのDIは▲**22.9**（今期▲**16.9**）と**6.0**ポイント減少し厳しが増すと予想している。借入れを予定している企業は**23.2%**（今期実施**30.6%**）で今期と比べ減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**40.8%**（今期実施**43.2%**）、予定していない企業は**59.2%**（今期実施なし**56.8%**）と多くの企業が設備投資拡大には未だ慎重であることがうかがえる。

### ◆DI指数推移

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲43.4	▲30.5	▲32.0	▲25.7	▲11.1	▲18.3
売 上 額	▲14.5	▲2.7	▲1.4	▲12.1	6.9	▲14.1
受 注 残	▲15.8	▲16.4	▲12.2	▲4.6	4.2	▲14.2
収 益	▲26.3	▲15.1	▲20.0	▲16.7	▲7.0	▲20.0
販 売 価 格	▲15.8	▲9.6	▲12.0	▲10.6	▲2.8	▲1.5
原 材 料 価 格	▲42.1	▲42.5	▲33.4	▲36.4	▲56.3	▲31.9
原 材 料 在 庫	9.2	2.8	5.3	6.1	1.4	▲2.8
資 金 繰 り	▲23.7	▲17.9	▲16.0	▲27.3	▲16.9	▲22.9

### ◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合) (%)

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	し た	34.7	29.2	33.3	30.8	30.6	23.2
	し ない	65.3	70.8	66.7	69.2	69.4	76.8
借 入 難 易 度	容 易	8.1	11.0	10.8	6.2	7.0	—
	不 変	67.6	57.5	66.2	67.7	67.6	—
	難	10.8	11.0	6.8	12.3	14.1	—
	該 当 な し	13.5	20.5	16.2	13.8	11.3	—

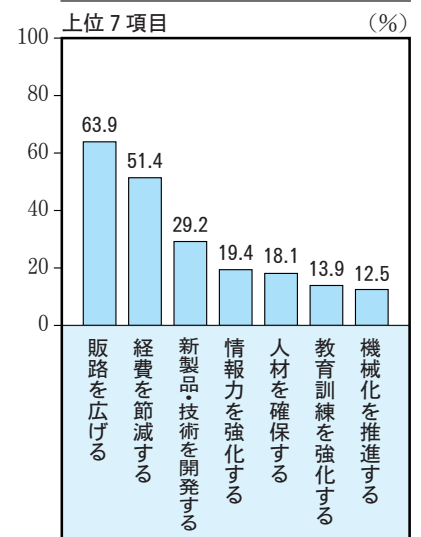
### ◆設備投資の動き (有効回答に占める割合) (%)

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	し た	41.8	36.3	41.4	35.1	43.2	40.8
	し ない	58.2	63.7	58.6	64.9	56.8	59.2
状 況	過 剰	18.4	12.3	17.6	10.6	5.6	7.2
	適 正	67.1	74.0	68.9	71.2	70.5	69.6
	不 足	14.5	13.7	13.5	18.2	23.9	23.2
DI	3.9	▲1.4	4.1	▲7.6	▲18.3	▲16.0	

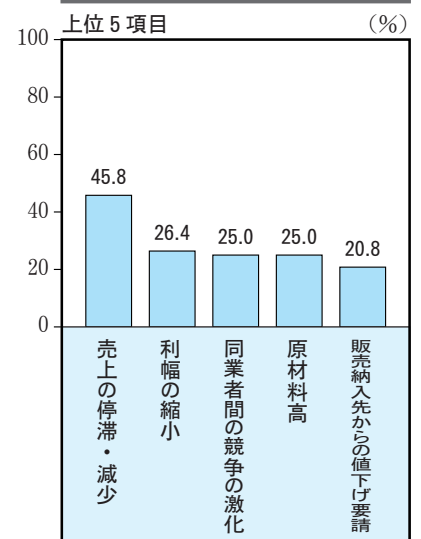
### ◆雇用面の動き (有効回答に占める割合) (%)

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	17.1	16.4	16.0	25.8	20.8	8.5
	不 変	48.7	53.5	53.3	53.0	54.2	76.0
	減 少	34.2	30.1	30.7	21.2	25.0	15.5
人 手	過 剰	26.3	16.4	20.0	15.2	12.5	12.7
	適 正	64.5	68.5	68.0	63.6	59.7	70.4
	不 足	9.2	15.1	12.0	21.2	27.8	16.9

### 重点経営施策 (複数回答)



### 経営上の問題点 (複数回答)



# 建設業 (調査先企業 47社 うち回答企業 45社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**20.0%**（前期**28.3%**）、悪かったとする企業は、**35.6%**（前期**23.9%**）で、DIは▲**15.6**（前期**4.4**）と**20.0**ポイント低下し厳しさを強め、前期まで2期連続プラスであったが水面下に落ち込んだ。

各指標別を見ると、売上額はDI▲**24.4**（前期▲**13.1**）で**11.3**ポイント減少を強め、受注残についてもDI▲**35.5**（前期▲**10.9**）と**24.6**ポイント減少を強めた。施工高はDI▲**28.9**（前期**4.4**）と増加から減少に転じた。価格面では請負価格がDI▲**13.3**（前期▲**10.9**）と**2.4**ポイント低下した。材料価格はDI▲**68.9**（前期▲**63.0**）と材料価格が上昇したとする企業の割合が増加した。収益面はDI▲**44.5**（前期▲**13.0**）で**31.5**ポイント低下し減少を強めた。資金繰りについては、DI▲**17.8**（前期▲**41.3**）と**23.5**ポイント改善した。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**6.7**（前年同期**2.4**）と**9.1**ポイント低下し増加から減少に転じた。収益面についてはDI▲**22.2**（前年同期▲**16.7**）と**5.5**ポイント低下し減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲**17.7**（今期▲**15.6**）と**2.1**ポイント厳しさが強まると業況予想している。

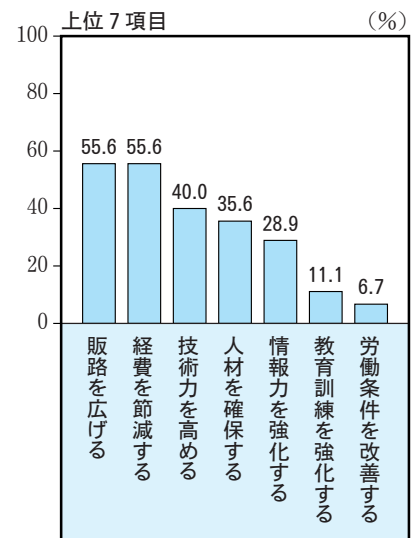
各指標別においては、売上額はDI▲**8.9**（今期▲**24.4**）と**15.5**ポイント改善すると予想しており、受注残についてもDI▲**2.2**（今期▲**35.5**）と**33.3**ポイントと大幅に改善する見通しである。収益面についてDIは▲**15.5**（今期▲**44.5**）と**29.0**ポイント増加し減益幅が縮小すると予想している。資金繰りはDI▲**15.9**（今期▲**17.8**）と**1.9**ポイント改善し、今期に引き続き厳しさが和らぐと予想している。

※「売上高=完成工事高」、「施工高=出来高」、「請負価格=受注額」

## ◆DI指数推移

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲23.3	▲2.2	23.8	4.4	▲15.6	▲17.7
売 上 額	▲11.6	▲4.5	31.0	▲13.1	▲24.4	▲8.9
受 注 残	▲7.0	▲4.4	38.1	▲10.9	▲35.5	▲2.2
収 益	▲21.0	▲22.2	4.8	▲13.0	▲44.5	▲15.5
請 負 価 格	▲7.0	▲13.3	2.4	▲10.9	▲13.3	▲22.2
材 料 価 格	▲46.5	▲44.4	▲66.7	▲63.0	▲68.9	▲43.2
在 庫	4.7	8.9	▲4.8	8.9	6.8	▲2.3
資 金 繰 り	▲23.9	▲33.4	▲31.7	▲41.3	▲17.8	▲15.9

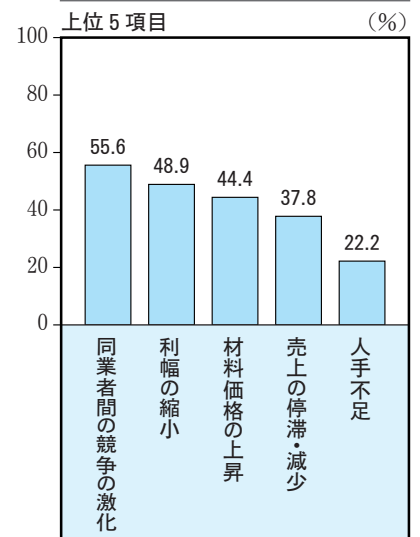
## 重点経営施策 (複数回答)



## ◆借入金の動き・難易度 (有効回答に占める割合) (%)

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	53.5	60.0	54.8	60.0	48.9	48.9
	しない	46.5	40.0	45.2	40.0	51.1	51.1
借 入 難 易 度	容 易	14.6	6.7	4.8	8.7	9.5	—
	不 変	63.4	62.2	73.7	63.0	69.1	—
	難	12.2	22.2	16.7	17.4	11.9	—
	該当なし	9.8	8.9	4.8	10.9	9.5	—

## 経営上の問題点 (複数回答)



## ◆設備投資の動き (有効回答に占める割合) (%)

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	40.4	43.4	36.5	38.5	48.2	34.0
	しない	59.6	56.6	63.5	61.5	51.8	66.0
状 況	過 剩	9.5	2.2	4.9	2.2	6.7	2.3
	適 正	76.2	82.2	75.6	80.0	82.2	84.1
	不 足	14.3	15.6	19.5	17.8	11.1	13.6
DI	▲4.8	▲13.4	▲14.6	▲15.6	▲4.4	▲11.3	

## ◆雇用面の動き (有効回答に占める割合) (%)

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	7.0	8.9	28.6	30.4	4.4	9.1
	不 変	74.4	77.8	59.5	58.7	73.4	84.1
	減 少	18.6	13.3	11.9	10.9	22.2	6.8
人 手	過 剩	14.0	6.7	2.4	4.3	13.3	9.1
	適 正	58.1	62.2	50.0	54.4	62.3	65.9
	不 足	27.9	31.1	47.6	41.3	24.4	25.0

## 卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 10 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**10.0%**（前期**40.0%**）で、悪かったとする企業は**40.0%**（前期**30.0%**）でDI▲**30.0**（前期**10.0**）と**40.0**ポイント低下し厳しさを強め、前期まで3期連続プラスであったが水面下に落ち込んだ。

各指標別に見ると、**売上額**は、前期比ではDI**10.0**（前期**30.0**）と**20.0**ポイント低下し増加幅が減少した。**販売価格**はDI**50.0**（前期**20.0**）で販売価格の上昇幅が拡大した。**仕入価格**のDIは▲**40.0**（前期▲**60.0**）と仕入れ価格の上昇が弱まった。**収益面**はDI**0.0**（前期**30.0**）と**30.0**ポイント増益幅が減少した。**資金繰り**についてはDI▲**20.0**（前期**10.0**）で**30.0**ポイント悪化し窮屈感が現れた。**借入れ**を実施した企業は**40.0%**（前期**33.3%**）と増加、**設備投資の実施**をした企業は**10.0%**（前期**36.4%**）と減少した。

前年同期比で見ると、**売上額**はDI▲**10.0**（前年同期**11.1**）と**21.1**ポイント低下し増加から減少に転じた。**収益面**についてもDI▲**20.0**（前年同期**0.0**）と**20.0**ポイント低下し減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲**10.0**（今期▲**30.0**）と水面下ながら改善すると予想している。

主な指標で見ると、**売上額**のDIは**30.0**（今期**10.0**）、また**収益**についてもDIも**20.0**（今期**0.0**）と増加幅が拡大すると予想している。**販売価格**は価格の上昇が弱まると予想しており、**仕入価格**についても価格の上昇が弱まると予想している。**借入れ**を予定している企業は**30.0%**（今期実績**40.0%**）と今期より減少する見通しである。**設備投資の実施**を予定している企業は**10.0%**（今期実績**10.0%**）で、来期設備投資を実施予定している企業は今期と同様の見通しである。

## ◆DI指数推移

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	0.0	20.0	11.1	10.0	▲30.0	▲10.0
売 上 額	11.1	30.0	33.4	30.0	10.0	30.0
収 益	0.0	20.0	11.1	30.0	0.0	20.0
販 売 価 格	44.4	30.0	11.1	20.0	50.0	10.0
仕 入 価 格	▲55.6	▲50.0	▲66.7	▲60.0	▲40.0	▲20.0
在 庫	22.2	20.0	33.3	10.0	20.0	10.0
資 金 繰 り	▲11.1	0.0	▲22.2	10.0	▲20.0	▲20.0

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	25.0	55.6	37.5	33.3	40.0	30.0
	しない	75.0	44.4	62.5	66.7	60.0	70.0
借 入 難 易 度	容 易	14.3	0.0	0.0	11.1	0.0	—
	不 変	71.4	100.0	77.8	66.7	88.9	—
	難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	該当なし	14.3	0.0	22.2	22.2	11.1	—

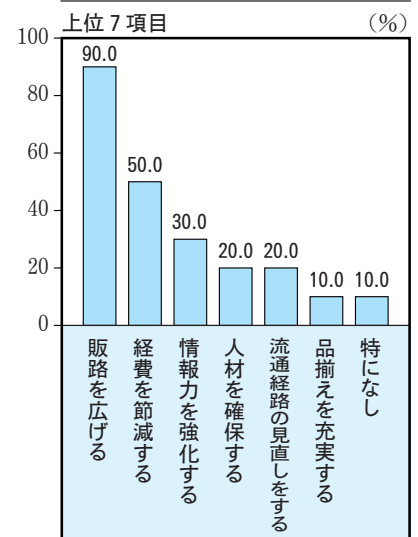
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	0.0	9.1	11.1	36.4	10.0	10.0
	しない	100.0	90.9	88.9	63.6	90.0	90.0
状 況	過 剰	14.3	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0
	適 正	71.4	80.0	75.0	80.0	80.0	80.0
	不 足	14.3	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0
DI	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

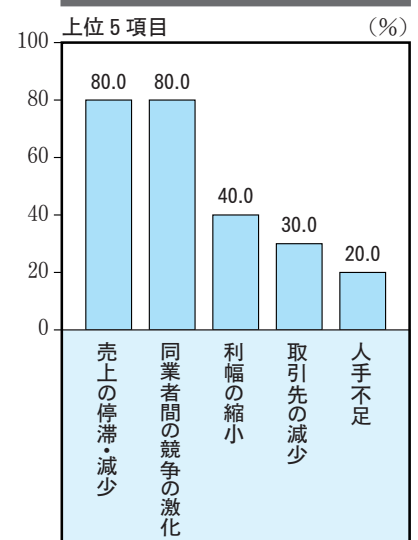
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	0.0	0.0	11.1	20.0	0.0	0.0
	不 変	87.5	100.0	88.9	70.0	77.8	100.0
	減 少	12.5	0.0	0.0	10.0	22.2	0.0
人 手	過 剰	11.1	10.0	11.1	10.0	10.0	0.0
	適 正	88.9	90.0	77.8	70.0	90.0	100.0
	不 足	0.0	0.0	11.1	20.0	0.0	0.0

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 小 売 業 (調査先企業 40 社 うち回答企業 39 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**10.3%**（前期**13.2%**）、悪かったとする企業は**79.5%**（前期**50.0%**）で、DI▲**69.2**（前期▲**36.8**）と**32.4**ポイント減少し、前期に引き続き悪化傾向が強まった。

各指標別に見ると、売上額は、DI▲**59.0**（前期▲**26.3**）と**32.7**ポイント低下し減少を強めた。販売価格については、DI**23.1**（前期▲**7.9**）と販売価格が上昇したとする企業の割合が増加、仕入価格のDIは▲**38.5**（前期▲**23.6**）と仕入価格が上昇したとする企業の割合が増加した。収益面では、DI▲**61.5**（前期▲**21.0**）と**40.5**ポイント大幅に減少を強めた。資金繰りのDIは▲**25.6**（前期▲**23.7**）と**1.9**ポイント厳しさが増した。今期借入れをした企業は**13.5%**（前期**25.0%**）と減少している。今期設備投資の実施をした企業は**21.1%**（前期**20.5%**）とほぼ同水準で推移している。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**53.8**（前年同期▲**18.2**）と**35.6**ポイント減少を強めており、収益面についてもDI▲**51.3**（前年同期▲**27.3**）と前年同期より**24.0**ポイント減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲**66.6**（今期▲**69.2**）と**2.6**ポイントわずかではあるがマイナス幅が縮小する予想しているが、今期に引き続き来期も厳しい状況である。

各指標別では、売上額のDIは▲**28.2**（今期▲**59.0**）と**30.8**ポイント、収益についてもDI▲**33.4**（今期▲**61.5**）で**28.1**ポイント持ち直すと予想している。借入れを予定している企業は**16.2%**（今期実施**13.5%**）と今期より増加する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**18.9%**（今期実施**21.1%**）と今期より減少する見通しである。

### ◆DI指数推移

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲58.0	▲37.2	▲24.3	▲36.8	▲69.2	▲66.6
売 上 額	▲27.3	▲11.4	15.2	▲26.3	▲59.0	▲28.2
収 益	▲42.4	▲28.6	9.1	▲21.0	▲61.5	▲33.4
販 売 価 格	▲18.1	5.7	15.2	▲7.9	23.1	25.6
材 料 価 格	▲12.1	▲28.6	▲36.4	▲23.6	▲38.5	▲42.1
在 庫	24.2	0.0	24.2	21.1	28.2	25.6
資 金 繰 り	▲6.1	▲20.0	▲18.7	▲23.7	▲25.6	▲33.4

### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	した	25.0	23.5	24.2	25.0	13.5	16.2
	しない	75.0	76.5	75.8	75.0	86.5	83.8
借 入 難 易 度	容 易	15.6	14.3	15.2	16.2	16.7	—
	不 変	50.0	51.4	48.4	48.7	50.0	—
	難	12.5	11.4	15.2	16.2	13.9	—
	該当なし	21.9	22.9	21.2	18.9	19.4	—

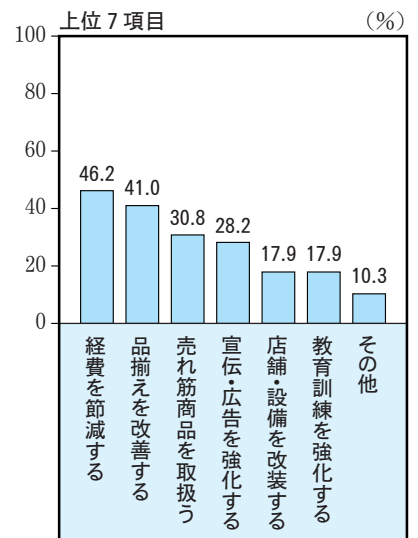
### ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	した	12.5	11.4	12.1	20.5	21.1	18.9
	しない	87.5	88.6	87.9	79.5	78.9	81.1
状 況	過 剰	9.4	6.1	13.3	0.0	11.1	14.3
	適 正	68.7	78.7	70.0	75.8	69.5	65.7
	不 足	21.9	15.2	16.7	24.2	19.4	20.0
DI	▲12.5	▲9.1	▲3.4	▲24.2	▲8.3	▲5.7	

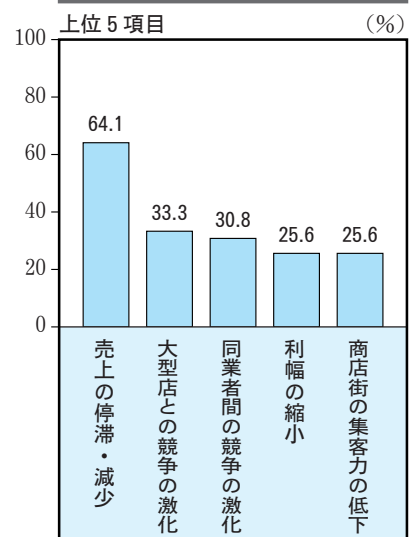
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	6.9	6.5	6.3	8.6	10.8	11.1
	不 変	82.8	87.0	84.3	80.0	81.1	75.0
	減 少	10.3	6.5	9.4	11.4	8.1	13.9
人 手	過 剰	12.5	11.8	9.4	11.1	7.7	10.5
	適 正	81.2	70.6	84.3	80.6	79.5	81.6
	不 足	6.3	17.6	6.3	8.3	12.8	7.9

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）



## サービス業 (調査先企業 30 社 うち回答企業 26 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**0.0%**（前期**0.0%**）、悪かったとする企業は**69.2%**（前期**66.7%**）で、DIは**▲69.2**（前期**▲66.7**）と2期連続して良かったとする企業の回答がなく、依然として厳しい状況は続いている。

各指標別で見ると、売上額はDI**▲23.1**（前期**▲55.6**）**32.5**ポイント改善し減少に歯止めがかかった。収益のDIについても**▲38.5**（前期**▲59.3**）と**20.8**ポイント改善し減少に歯止めがかかった。資金繰りのDIは**▲44.0**（前期**▲50.0**）と**6.0**ポイント改善し、資金繰りの窮屈感が緩和した。借入面は、今期借入れをした企業は**16.0%**（前期**25.9%**）と**9.9%**減少した。仕入価格のDIは**▲65.4**（前期**▲34.7**）で仕入価格が上昇したとする企業の割合が増加した。また料金価格のDIは**38.5**（前期**▲3.7**）と料金価格が上昇したとする企業の割合が上昇した。設備の状況については不足とする企業は**19.2%**（前期**7.4%**）、今期設備投資の実施をした企業は**22.2%**（前期**24.1%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲46.2**（前年同期**▲22.2**）と**24.0**ポイント減少を強めており、収益面についてもDI**▲53.9**（前年同期**▲40.7**）と**13.2**ポイント減少を強めている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI**▲27.0**（今期**▲69.2**）と**42.2**ポイント大幅に改善すると予想している。

主な指標で見ると、売上額のDIは**▲3.9**（今期**▲23.1**）と**19.2**ポイント減少幅が縮小、収益のDIも**▲11.5**（今期**▲38.5**）と**27.0**ポイント減益幅が縮小、売上・収益ともに改善すると予想されている。資金繰りのDIは**▲24.0**（今期**▲44.0**）と**20.0**ポイント窮屈感が和らぐと予想している。借入れを予定している企業は**28.0%**（今期実施**16.0%**）と今期より増加、また設備投資の実施を予定している企業も**28.6%**（今期実施**22.2%**）と今期より増加する見通しである。

## ◆DI指数推移

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	▲25.0	▲39.2	▲41.4	▲66.7	▲69.2	▲27.0
売 上 額	0.0	▲14.3	▲27.6	▲55.6	▲23.1	▲3.9
収 益	▲10.7	▲21.4	▲31.0	▲59.3	▲38.5	▲11.5
料 金 価 格	▲3.5	7.2	▲10.3	▲3.7	38.5	19.3
材 料 価 格	▲50.0	▲64.3	▲48.3	▲34.7	▲65.4	▲46.2
資 金 繰 り	▲21.4	▲11.1	▲42.9	▲50.0	▲44.0	▲24.0

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
借 入 実 施	し た	21.4	25.0	10.3	25.9	16.0	28.0
	し ない	78.6	75.0	89.7	74.1	84.0	72.0
借 入 難 易 度	容 易	7.4	3.6	7.4	4.0	4.3	—
	不 変	55.6	64.3	66.7	48.0	65.3	—
	難	22.2	21.4	18.5	32.0	26.1	—
	該 当 なし	14.8	10.7	7.4	16.0	4.3	—

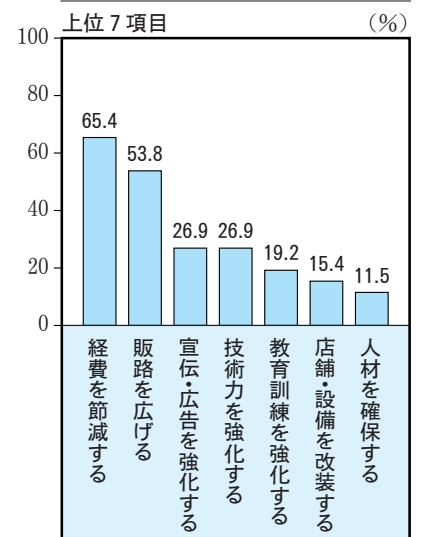
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
実 施	し た	21.4	14.3	29.4	24.1	22.2	28.6
	し ない	78.6	85.7	70.6	75.9	77.8	71.4
状 況	過 剰	7.1	7.1	3.8	3.7	3.8	4.0
	適 正	85.8	67.9	80.8	88.9	77.0	76.0
	不 足	7.1	25.0	15.4	7.4	19.2	20.0
DI	0.0	▲17.9	▲11.6	▲3.7	▲15.4	▲16.0	

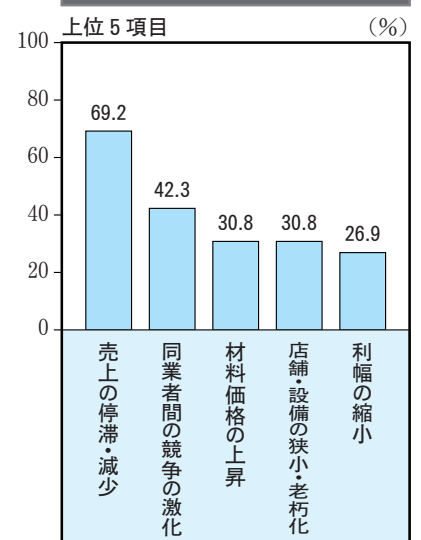
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	
残 業 時 間	増 加	11.5	12.0	7.1	7.7	4.0	20.8
	不 変	69.3	64.0	60.8	65.4	64.0	62.5
	減 少	19.2	24.0	32.1	26.9	32.0	16.7
人 手	過 剰	14.3	11.1	17.9	14.8	7.7	4.0
	適 正	64.3	81.5	67.8	55.6	73.1	72.0
	不 足	21.4	7.4	14.3	29.6	19.2	24.0

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は0.0%（前期0.0%）、悪かったとする企業は16.7%（前期16.7%）で、DIは▲16.7（前期▲16.7）と前期と同水準で推移した。

各指標別で見ると、売上額はDI▲16.7（前期▲50.0）と33.3ポイント改善、収益面についてもDI▲16.7（前期▲50.0）と33.3ポイント改善した。販売価格のDIは0.0（前期▲33.3）と下降が一服、仕入価格についてもDI0.0（前期33.3）と下降が一服した。今期借入れをした企業は16.7%（前期16.7%）と4期連続して同水準で推移している。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲16.6（前年同期33.3）、収益面についてもDI▲16.6（前年同期33.3）で売上・収益ともに増加から減少に転じた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI0.0（今期▲16.7）と好転すると予想している。

各指標別では、売上額はDI0.0（今期▲16.7）、収益面についてもDI0.0（今期▲16.7）で売上・収益ともに好転すると予想している。販売価格のDIは▲16.7（今期0.0）と価格の下降を強めると予想しており、仕入価格についてもDI16.7（今期0.0）と価格の下降を強めると予想している。借入れを予定している企業は16.7%（今期実施16.7%）で今期と同様に推移する見通しである。

### ◆DI指数推移

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	0.0	33.3	0.0	▲16.7	▲16.7	0.0
売 上 額	16.6	33.3	▲16.6	▲50.0	▲16.7	0.0
収 益	0.0	33.3	▲16.6	▲50.0	▲16.7	0.0
販 売 価 格	▲16.7	▲16.7	▲33.3	▲33.3	0.0	▲16.7
仕 入 価 格	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7
在 庫	▲16.7	▲16.7	0.0	▲16.7	0.0	0.0
資 金 繰 り	0.0	16.7	16.7	▲16.7	0.0	0.0

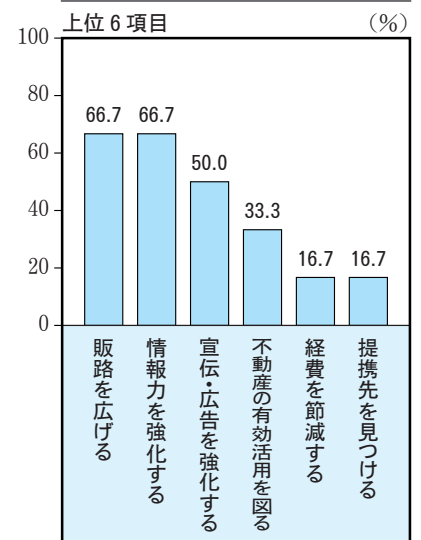
### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
借 入 実 施	し た	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7
	し ない	100.0	83.3	83.3	83.3	83.3
借 入 難 易 度	容 易	16.7	0.0	0.0	0.0	20.0
	不 変	50.0	50.0	80.0	80.0	60.0
	難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	該 当 なし	33.3	50.0	20.0	20.0	20.0

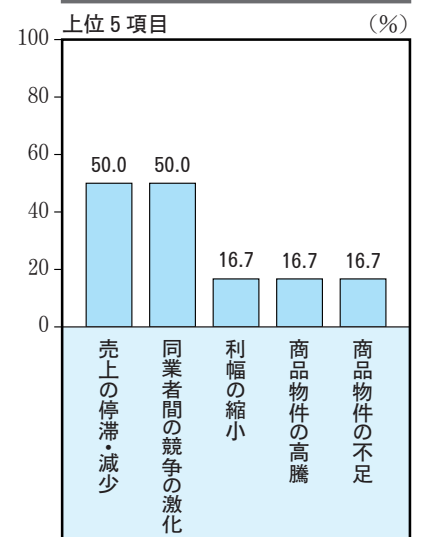
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年			平成26年		予 想
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
残 業 時 間	増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不 変	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	減 少	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人 手	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	100.0	100.0	83.3	100.0	100.0
	不 足	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）





## 特別調査 中小企業のIT(情報技術)活用について

**問 1** マイクロソフト社のパソコン基本ソフト「Windows XP」のサポートが4月に終了し、買換えなどの対応が推奨されています。貴社では「Windows XP」を現在も使用していますか？

総合では、「Windows XP」の買換え対応について「すでにXPを使用していない」と回答した企業の割合が**62.2%**で「現在もXPを使用している」の**31.4%**を上回る結果となった。「すでにXPを使用していない」の理由としては、「対応(買換え等)が終了した」が**53.2%**、「もともとWindows XPは使用していない」が**7.4%**となっている。一方、「現在もXPを使用している」の理由としては、「業務多忙のため使用中(買換え予定)」が**14.9%**、「買換えの資金が不足している」と「インターネットに接続しないため買換え不要」が**4.8%**となっている。

業種別でみると、建設業においては「対応(買換え等)が終了した」と回答した企業の割合が**59.1%**と高い割合になっている一方、「業務多忙のため使用中(買換え予定)」が**25.0%**と、他業種に比べて業務多忙で買換え等の対応ができていない企業も多い実情がうかがえる。(%)

【すでにXPを使用していない】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
「すでにXPを使用していない」割合	62.2	63.5	63.7	44.5	58.9	68.0	60.0
1. 対応(買換え等)が終了した	53.2	55.0	59.1	33.4	55.9	40.0	60.0
2. もともとWindows XPは使用していない(Macなどを使用している)	7.4	8.5	4.6	11.1	3.0	16.0	0.0
3. 自社にはパソコンがない	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0
【現在もXPを使用している】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
「現在もXPを使用している」割合	31.4	30.9	31.8	44.4	38.2	16.0	40.0
4. 業務多忙のため使用中(買換え予定)	14.9	14.1	25.0	11.1	8.8	8.0	20.0
5. 買換えの資金が不足している	4.8	5.6	2.3	0.0	5.9	8.0	0.0
6. システムや周辺機器がXPLしか対応できない	3.2	7.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0
7. インターネットに接続しないため買換え不要	4.8	0.0	0.0	22.2	17.7	0.0	20.0
8. サポート終了を知らなかった	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. その他	3.7	4.2	4.5	11.1	2.9	0.0	0.0
【わからない】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
10. わからない	6.4	5.6	4.5	11.1	2.9	16.0	0.0

**問 2** 貴社では、事業上(販売、調達、資金決済、宣伝広告など)でインターネット(パソコン、スマートフォン、タブレット端末など)を活用していますか？

総合では、インターネットの活用で利用頻度の高いものは「インターネットバンキングによる資金決済」が**49.5%**、次いで「販売・受注・見積り受託等」**43.4%**、「自社のホームページによる宣伝広告」**35.9%**、「調達・仕入れ等」**30.8%**と続いている。活用していない企業は**17.2%**となっている。

業種別でみると、「自社のホームページによる宣伝広告」の活用で建設業(**55.6%**)と不動産業(**66.7%**)が高い回答となっている。「販売・受注・見積り受託等」の活用で製造業(**55.6%**)と卸売業(**50.0%**)が高い回答となっている。また、「調達・仕入れ等」の活用では小売業(**48.7%**)が高い回答となっている。業種によって活用方法が異なっていることがわかる。(%)

【複数回等】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 販売・受注・見積り受託等	43.4	55.6	37.8	50.0	41.0	23.1	33.3
2. 調達・仕入れ等	30.8	29.2	26.7	30.0	48.7	23.1	0.0
3. インターネットバンキングによる資金決済	49.5	52.8	55.6	30.0	48.7	42.3	33.3
4. 電子債権(でんさいネット、ファクツリング等)	9.6	20.8	4.4	10.0	0.0	3.8	0.0
5. 市場調査・マーケティング	4.5	4.2	6.7	0.0	2.6	7.7	0.0
6. 顧客への説明・プレゼンテーション	10.6	6.9	13.3	10.0	5.1	11.5	66.7
7. メールマガジンによる宣伝広告	1.5	1.4	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 自社のホームページによる宣伝広告	35.9	31.9	55.6	10.0	20.5	38.5	66.7
9. その他	3.0	2.8	4.4	0.0	5.1	0.0	0.0
10. 活用していない	17.2	15.3	11.1	20.0	15.4	30.8	33.3

**問 3** インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築する「ソーシャルネットワーキングサービス(以下「SNS」)の利用が拡大していますが、貴社ではこうしたSNS等を事業上の情報収集・発信に利用していますか。

総合では、SNSを利用している企業の割合は**15.4%**で、最も多い利用としては「Facebook(フェイスブック)」が**11.2%**となっている。反面、SNSを利用していない企業は**84.6%**と高い割合となっている。利用していない企業の今後の方針については「今後も利用しない」**33.7%**、「わからない」**28.9%**、「利用を検討したい」**17.7%**の順になっており、「今後も利用しない」と「わからない」の合計が6割を超えている。今後もSNSを利用する企業の方が少ない状況が続くのではないと思われる。

(%)

【SNSを利用している】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
「SNSを利用している」割合	15.4	12.8	16.2	12.5	17.2	20.0	16.7
1. Facebook(フェイスブック)	11.2	8.6	13.9	0.0	11.4	16.0	16.7
2. Twitter(ツイッター)	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. LINE(ライン)	2.1	1.4	0.0	12.5	2.9	4.0	0.0
4. mixi(ミクシィ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. その他	1.6	1.4	2.3	0.0	2.9	0.0	0.0
【SNSを利用していない】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
「SNSを利用していない」割合	84.6	87.2	83.8	87.5	82.8	80.0	83.3
6. 以前利用していたがやめた	1.6	0.0	0.0	12.5	5.7	0.0	0.0
7. 利用を開始する予定	2.7	5.7	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0
8. 利用を検討したい	17.7	10.0	23.3	12.5	34.3	8.0	16.7
9. わからない	28.9	28.6	37.2	25.0	14.3	40.0	16.6
10. 今後も利用しない	33.7	42.9	23.3	37.5	25.7	32.0	50.0

## 問 4

貴社では、これまで行ってきたIT投資（コンピュータ、ネットワーク関連機器・ソフトウェアの購入、利用環境の整備等全般）の費用対効果についてどのように感じていますか。

IT投資の費用対効果の満足度については、総合では、満足している（大いに満足、やや満足）企業が**56.8%**あるものの、満足していない（あまり満足していない、全く満足していない）企業も**27.0%**ある。業種別で見ると、小売業とサービス業の満足度は他業種に比べて低くなっている。

今後のIT投資の計画については、総合では、「現状維持の予定」**58.9%**、「拡充する予定」**20.5%**、「IT投資は行わない」**19.5%**の回答となっている。約2割の企業は拡充する予定であるが、IT投資を行わない企業も約2割ある。業種別で見ると「拡充する予定」の割合が小売業とサービス業は他業種に比べて低くなっている。(%)

【IT投資の満足度】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 大いに満足している	4.9	5.7	4.6	0.0	2.9	8.7	0.0
2. やや満足している	51.9	57.1	60.5	62.5	37.1	30.4	83.3
3. あまり満足していない	25.4	22.9	23.3	12.5	37.1	30.4	0.0
4. 全く満足していない	1.6	1.4	0.0	0.0	2.9	4.4	0.0
5. もともとIT投資を実施していない	16.2	12.9	11.6	25.0	20.0	26.1	16.7
【今後のIT投資の計画】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
6. 拡充する予定	20.5	25.4	20.9	25.0	14.3	9.1	33.3
7. 現状維持の予定	58.9	57.7	62.8	50.0	60.0	59.1	50.0
8. 縮小する予定	1.1	1.4	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0
9. IT投資は行わない	19.5	15.5	16.3	25.0	22.9	31.8	16.7

## 問 5

貴社では、IT(情報技術)化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。

総合では、「セキュリティの確保への不安」**38.4%**が一番多く、次いで「導入・維持にかかるコスト負担が大きい」**33.3%**、「トラブル発生時の対応が困難」**26.8%**、「費用対効果の把握が困難」、「活用方法に関する知識の不足」**25.8%**となっている。(%)

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 費用対効果の把握が困難	25.8	27.8	20.0	30.0	30.8	23.1	16.7
2. 技術革新が速すぎて対応しきれない	18.2	19.4	24.4	0.0	20.5	7.7	16.7
3. セキュリティの確保への不安	38.4	40.3	46.7	60.0	20.5	26.9	83.3
4. トラブル発生時の対応が困難	26.8	31.9	28.9	20.0	23.1	11.5	50.0
5. 導入・維持にかかるコスト負担が大きい	33.3	38.9	40.0	10.0	35.9	15.4	16.7
6. 情報分野に長けた社員の不足	21.7	20.8	17.8	0.0	25.6	38.5	0.0
7. 活用方法に関する知識の不足	25.8	27.8	17.8	10.0	28.2	30.8	50.0
8. 経営者・社員が必要と感じていない	7.6	4.2	6.7	20.0	12.8	3.8	16.7
9. 特に問題点・課題はない	6.6	2.8	4.4	10.0	10.3	15.4	0.0
10. その他	2.0	2.8	2.2	0.0	2.6	0.0	0.0



アルプス中央信用金庫 経済文化講演会

ひがしこくばる ひでお

テーマ

ピンチを  
チャンスに!

講師

東国原 英夫 氏

入場  
無料

日時

平成26年10月4日(土)  
開演14:00 開場13:00

場所

長野県伊那文化会館  
小ホール(定員400名)

入場無料ですが、当金庫窓口へ申込書をご用意しておりますので事前にお申し込みください。

※お申し込みいただいた方には整理券をお渡ししますので、当日お持ちください。なお、定員400名になり次第締め切りとさせていただきます。

主催/アルプス中央信用金庫 協賛/しんきん経営者協議会

お問い合わせ先 | アルプス中央信用金庫 業務推進部 ☎0120-173-017 (平日午前9時~午後5時まで)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE INK